



中間支援組織の設置で 地域自治の支援を

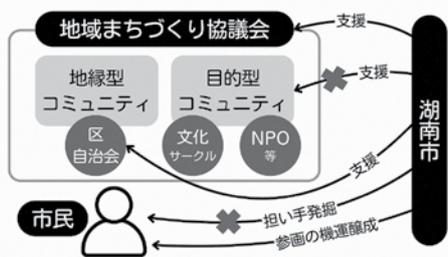


会派 きずな ● 中土 翔太 議員

地域自治の担い手と市による支援のあり方について

問 現状、地域まちづくり協議会（以下、まち協）と区・自治会、いわゆる地縁型コミュニティの活動に対しては支援があるが、目的型コミュニティに対する支援は必要ないのか。

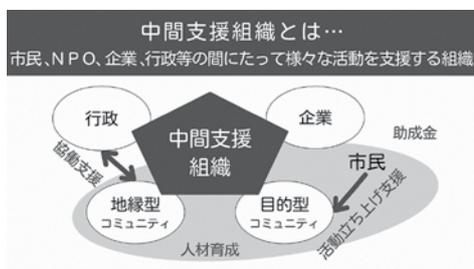
答 目的型コミュニティがまち協の構成団体として参画できるようまち協に対して働きかけや支援を行います。担い手の発掘・育成はこの役割なのか。



答 担い手の発掘は地域自治の主体である地域にあり、育成については市が市民に対して意識の醸成を進める必要があると考えます。

問 中間支援組織に対する市の見解は。

答 本市には中間支援組織はありませんが、市民のまちづくりに対する取り組みを育成するとともに、情報の共有、人的ネットワークの形成が大切であると考えています。中間支援組織の必要性について協議してまいります。



校庭の芝生化推進・ 岩根診療所再開時期!!



会派 きずな ● 堀田 繁樹 議員

問 校庭・園庭の芝生化について実施に至った経過や効果について

答 石部小学校では、校舎建替時に砂埃対策としてグラウンドを芝生化しました。実施にあたり、近隣市を参考にしましたが、維持管理は石部地域関係団体のご理解とご協力により実現したものです。砂埃飛散防止のほか、児童たちの外遊びが増加し、けがも減少、体力向上にも寄与しています。地域の皆様とともに芝生を育てることで地域とのつながりや郷土愛を育む一助となっております。

問 市内他校等への拡大について

答 芝生化の効果は認識していますが、継続性を含め地域や学校との議論が必要なため実施には慎重な判断が必要と考えます。

問 国民健康保険直営「岩根診療所」の再開に向け今後の見通し

答 全国的な医師不足等により医師派遣による再開については現在、困難な状況です。医師派遣以外の方法も含めて再開を目指します。

問 甲賀市における指定管理での公設診療所体制事例について

答 公立診療所は、かかりつけ医として地域医療を担ってききました。75歳以上の後期高齢者が増加、働く世代も減少していくため、市内の医療環境の整備は急務と考えています。このため、既存医療機関などの活用で「こなん在宅医療安心ネットワーク」の構築を目指します。岩根診療所の再開については甲賀市の運営方法も参考にしながら、引き続き方向性を検討していきます。